

1. はじめに：西欧政治の最近の特徴

- (1) 中道左派政権
- (2) 理念をめぐる論争
- (3) EUの深化と拡大
- (4) グローバリゼーションへの対応

2. グローバリゼーションとは

- (1) ハイパー・グローバリスト
- (2) 懐疑派
- (3) 変容派

3. グローバリゼーションと国家

- (1) グローバリゼーションと国家の変容  
例：支援国家 (enabling state)
- (2) 政治的な反応
- (3) 西欧国家の様々な対応
  - ( ) 市場志向の道：イギリスのニューレーバー
  - ( ) 市場志向・合意志向：オランダ (オランダ・モデル)
  - ( ) 国家主義的 (エタティズム) の道：フランス社会党
  - ( ) 改革された福祉国家：スウェーデン

4. マルチ・レベル・ガバナンス

- (1) 地域主義の問題
  - ( ) EU
  - ( ) ASEM・ASEAN+3・APEC
- (2) EU - 中央政府 - 地方

5. おわりに

- (1) 「国家のかたち」と「グローバル化した世界のかたち」
- (2) トランスナショナル化する市民社会

(表1)

	ハイパー・グローバル化主義者	懐疑派	第3の解釈
何が新しいのか	グローバルな時代	ブロック化	グローバルな相互関連の未曾有な発達
主要な特徴	グローバル資本主義	前世紀よりも弱い相互依存	Thickなグローバル化
中央政府のパワー	衰退・融解	強化・向上	再構築
グローバル化の推進力	資本主義・テクノロジー	国家と市場	近代の様々な趨勢の結合
世界の階層化のパターン	古いヒエラルヒーの融解	南の世界のマージナル化の強化	世界秩序の新しいアーキテクチャー
主要な動機	マクドナルド	国益	政治共同体の変質
グローバル化の概念化	人間行動のフレームワークの再編	国際化とリージョナリゼーション	リージョン間関係と遠隔地関係の再編
歴史の射程	グローバルな文明	地域ブロック・文明の衝突	グローバルな統合と断片化
要約	国民国家の終焉	国家に依拠した国際化	国家のパワーと世界政治を変質させるグローバル化

(David Held et, al, eds, Global Transformation, Polity Press, 1999, p.10)

(表2) 90年代西欧の政治変動

	イタリア	イギリス	フランス	ドイツ
総選挙	96年4月	97年5月	97年6月	98年9月
政権構成	Ulivo+RC	labour	PS+PC+V	SPD+Grüne
政権構成の性格	左派	中道左派	左派	中道左派
政権の政策志向	中道左派	中道左派	中道左派	中道左派
主要な前政権	ペルルスコーニ (フォルツァ・イタリア等の右派連合政権)	サッチャー・メイジャー保守党政権	シラク大統領・ジュペ首相とする右派政権	コール首相のCDU/CSU+FDP政権
前政権の性格	新自由主義 右派	新自由主義 右派	新自由主義 右派	中道右派政権
総選挙勝利の要因	反右派 反旧左派	ニュー・レーバー	左派の結集	対抗政策
変化のマグニチュード	Regimeの変化	理念の変化	政策の変化	理念の変化? + 政策の変化